

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2019年2月3日号



## 市長、市嘱託職員の雇い止め(解雇)方針を打ち出す

①首切りは許せない、  
②介護や公務の民間企業任せも許せない

京都市が「各区役所で介護保険の仕事をしている嘱託職員の仕事を、来年4月から、京都一カ所にまとめたうえで(集約化)、民間企業に委託」との方針を打ち出しました。「嘱託員の職を廃止」とのことです。30人にも及び職員の解雇に他なりません。「雇い主」としての市長の見識が問われます。対象の嘱託職員労働者は、介護保険や医療・保健・福祉の有資格者専用

門家の皆さんですから、市の介護保険の水準低下も必至です。市は「今後、高齢者が増え、介護の担い手の職員が不足、職員の確保が困難になる」から、などと言っています。ですが、全く理由にないまま、待遇改善や専門家の養成もまた、市や政治の役割です。今後は「窓口での届出や受付などを郵送に切り替える」とのことですが、これでは市民サービスが後退するばかり



### 「介護保険職員の雇い止めごめん!市は介護に責任をもて!!」緊急集会

当日は、労働組合役員、嘱託員当事者の労働者、地域包括支援センター職員、福祉法人役員、介護保険利用者、介護事業所の方々などの発言が相次ぎました。(1月25日、社会福祉会館にて)

りです。

1月25日には、方針撤回を求める集会も開かれ(写真左上)、井上議員も参加しました。現在、市長は、八条団地建て替えや民泊対策等々、公務の仕事に民間企業に任せ、また学校跡地や中央市場の

### 京都駅八条口の改善を求める 市民の声を議会で紹介

1月24日の市議会で、井上議員は、最近お聞きした、①喫煙場と②自転車レーンの、それぞれ改善を求める市民の声を取り上げました。①は、喫煙場の外にまで流れてくる煙の防止策を、とのご要望です(写真左)。すでにJR桂川駅などでは、塀を増やすなどの対策が



一部をホテルや商業施設に提供するなど、「民間化・営利化」とも言える動きを促進しています。市立の保育所や福祉施設の、民間への売却など公務の後退が市政の大きな特徴となっていていきます。今回もこれらの流れの一環で、まして労働者の雇用を奪うなど言語道断です。共産党市議団も、市の方針撤回を求めて頑張ります。



で途切れていたり(写真右)、レーンがバス乗降場と重なっているために非常に危険とご指摘で、この点は井上議員も、従来から再三、改善を求めてきていました。今回もまたあいまいな答弁に終始しています。

### 年金機構が「お詫び申し上げます」

障害年金受給者に対して、昨年来、年金機構が「障害の程度が重くない」から「打ち切られるかも」との「お知らせ」を郵送してきていた問題で、昨年末、「引き続きお支払い」「ご配慮おかけし」との詫びが郵送されてきました。障害の程度は全く変わらぬのに、一方的に脅迫めいた文書が届き、相談を受けた井上議員も、機構へ電話したり、厚労省へ出掛けて折衝するなどしてきました。次は2年後に診断書を提出すべし、このことですが、症状が変わらないのに今後の打ち切りをほのめかすのは許せません。